

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 16 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21530191

研究課題名（和文） 幕末・明治における欧米経済思想、財政思想の導入に関するデータ・ベースの作成

研究課題名（英文） Western Economics and Public Finance in Late-Tokugawa and Meiji Japan: Compilation of Database

研究代表者

井上 琢智（INOUE TAKUTOSHI）

関西学院大学・経済学部・教授

研究者番号：30104269

研究成果の概要（和文）：

本研究の目的は、幕末・明治期における欧米経済思想、財政思想の導入・普及に際して利用された邦訳書の出版リスト、及びその邦訳書の原典の確認を行い、それをデータ・ベース化することである。そのため基本データとして『国立国会図書館蔵書目録 明治期』と各図書館所蔵の所蔵目録、研究書に収録された関連文献を抽出し、その基本データ・ベースに追加する作業を行ってきた。研究が終了した 2011 年度末までに、収録された文献数は 2,843 件である。その中でもっとも重要な文献の復刻版を *Economics in Meiji Japan, Collected Works of Western Origin*, selected and with an introduction by Prof. Takusoshi Inoue, Kwansei Gakuin University, Pickering & Chatto, Part I (vols.8), Part II (vols. 8), Part III (vols.8), 2009-12. として出版出来た。

研究成果の概要（英文）：

The purpose of this study is to organize a database of Japanese translations used in the introduction and promotion in Japan of economic and financial thought from Europe and the United States during the late-Tokugawa period (1850s to 1860s) and Meiji era (1868-1912), with bibliographic details (translator[s], year of publication, publisher, etc.) as well as information on the original works. The database is based on *Kokuritsu Kokkai Toshokan zoshō mokuroku: Meiji-ki* [The National Diet Library Catalog: Meiji Period]. Information on relevant documents extracted from the catalogs of various libraries and from monographs and other research output was also added to the database. The total number of documents cataloged in the database as of the end of fiscal 2011, when this study was finished, is 2,843.

The results of this research make available to students, researchers, and others interested in this field, a significant body of resources showing the enormous role the introduction of Western economics and public finance to late-Tokugawa and Meiji Japan played in Japan's modernization. I have published *Economics in Meiji Japan, Collected Works of Western Origin* (selected and with an introduction by Prof. Takutoshi Inoue, Kwansei Gakuin University), Pickering & Chatto, Part I (8 vols.), Part II (8 vols.), Part III (8 vols.), 2009-2012.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2010年度	700,000	210,000	910,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	2,500,000	750,000	3,250,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済学説・経済思想

キーワード：西洋経済学導入、邦訳、文献一覧、幕末・明治期

1. 研究開始当初の背景

日本経済思想史研究（近代経済学の日本への導入）を研究の柱の一つに据えた1980年前後においては、研究の基礎となる幕末・明治期の書誌的データは、先行研究である例えば堀経夫『明治経済思想史』など個別研究で扱われた諸文献を頼りに、国立国会のカードによる検索を行い、その複写によって得ることができた。しかし、『国立国会図書館蔵書目録 明治期』（1994）前後から、そのデータが整うようになってきた。それによって、個別先行研究などを頼りにした研究から一段とより詳細な情報を得ることができるようになってきた。

しかし、明治期欧米経済思想・財政思想の網羅的導入史研究にとって、それだけでは不十分であり、それを基礎としたより広範なデータ・ベースの作成の必要性が問われてきた。他方、研究の伸展とともに、旧帝大系の図書館所蔵の当該文献書誌の存在、さらにはより詳細な個別研究が進められ、多くの新しい書誌データが得られるようになってきた。とりわけ、電子情報による新しい書誌の検索が可能となり、その収録可能なデータは格段と進歩してきた。

例えば、「京都帝国大学経済学部創立15周年記念経済学大会 経済学部蔵書展示目録」や『東京大学経済学部蔵書 明治』のように大学図書館で所蔵している図書や三橋猛雄『明治前期思想史文献』や堀経夫『増補版 明治経済思想史』や『近代日本の経済思想』など一連の杉原四郎による研究などで使われた図書を含む図書データ・ベースがなく、その基本データ・ベースの総合的整備が研究者にとって課題であった。

本研究は、このような状況を少しでも改善し、より包括的でより詳細なデータ・ベースの作成（例えば、ある訳書は、その基礎となった原典の何版を邦訳したか。その

原典の改定は邦訳にどのように反映されたかといったより詳細なデータ。例えば、井上琢智「W.S.ジェヴォンズ経済学の導入史—*Primer of Political Economy* の邦訳史」1979<『黎明期日本の経済思想—イギリス留学生・お雇い外国人・経済学の制度化』2006 再録>)をも最終的に得ることを目的として開始された。

2. 研究の目的

本研究は、上記で指摘した背景のもとで、次世代の研究者のために、より包括的で詳細なデータ・ベースを整備することが目的である。そのデータ・ベースを利用することによって、日本経済思想史研究が「単に経済学史学会会員だけでなく、経済学や経済思想などに関心をもたれるすべての方々のあいだに強く高まること」を願っていた。

そのために、井上はすでに『幕末・明治期邦訳経済学復刻シリーズ：第一期 幕末・明治初期邦訳経済学書』（全7巻）を刊行した。しかし、その続編の出版は、この研究期間中には出版できなかったため、今後、出版動向を考慮しながら、続編の出版も目的にしていた。

それに代わり、このデータ・ベース作成過程で得た知見をもとに *Economics in Meiji Japan, Collected Works of Western Origin*, selected and with an introduction by Prof. Takusoshi Inoue を出版することができた。

3. 研究の方法

この分野でのデータ・ベースとしてもっとも包括的な蔵書目録である『国立国会図書館蔵書目録 明治期』を入力・整理し、本データ・ベースの基礎とした。具体的には、その分類法・入力項目（①記載文献、②署名タイトルの読み方、③原著書タイトル、④著者・

訳者・編集者などの責任表示、⑤版表示、⑥出版事情（出版年など）、⑦著書の形態、⑧装丁（和装・洋装）、⑨内容注記、⑩シリーズ名、⑪シリーズ巻号、⑫一般注記（旧所蔵場所等）、⑬著者標目（原著者・邦訳者等）、⑭出版西暦）に加えて、データの出典（『国立国会図書館蔵書目録 明治期』や「京都帝国大学経済学部創立15周年記念経済学大会経済学部蔵書展示目録」など）の15項目のもとに整理した。

次に、収録文献が多いと思われる「京都帝国大学経済学部創立15周年記念経済学大会経済学部蔵書展示目録」、「東京大学経済学部蔵書 明治」のように大学図書館で所蔵している図書、三橋猛雄『明治前期思想史文献』および堀経夫『増補・改訂 明治経済思想史』に含まれる書誌データを整理・統合した。

4. 研究成果

このような作業の結果、現在のデータ・ベースの収録件数は、2,843点となった。これによって、今回のデータ・ベースは、日本でもっとも、同一項目によって整理され、包括的なデータ・ベースになったと思われる。しかし、研究代表者の学長就任（2011年4月1日）によって、当初の目的でもあった杉原四郎、大淵利男、戒田郁夫、井上琢智など個別研究によるより詳細なデータを入力・整理することができなくなった。その点では、今なお未完のものである。しかし、このデータの入力・整理の過程で得た知見をもとに、邦訳の外国原典の編集作業を行った。その結果、以下で詳細を示す、*Economics in Meiji Japan, Collected Works of Western Origin* という、3部からなるシリーズ編集書を Pickering & Chatto 社から出版できた。具体的には、以下の邦訳書の原典（順序は原典の順序に従い記入する）が収められている。

Part I

[ホエイトリ著]渡部一郎編・小幡篤次郎訳『生産道案内』（明治3年）、ゼームス・イー・ソロルド・ロジャース著 高橋達郎訳述『泰西経済新論』（明治7年）、フウォケル氏 永峰秀樹訳『富国論』（明治7年）、彼理氏著 緒方正部分訳『官版経済原論』（明治2年）、ジョフラ氏 古沢滋等訳・大熊重信序『経済要説』（明治10-11年）、巴士智亞原著 林正明訳述『経済弁妄』（明治11年）、巴伊児著 若山儀一訳『自由交易穴探』（明治10年）、宝節徳夫人著 永田健助訳述『宝氏経済学』（明治10年）、法思徳著 汪鳳藻漢訳 岸田吟香点『富国策』（漢文）（明治14年）

Part II

ケリー著 ケート・マッキーン抄 犬養毅訳『圭氏経済学』（明治17-21年）、マクラウド著 田口卯吉訳 有賀長雄訳『麻氏経済哲学』（明治18年）、英国宝徳氏著 片山平三

郎訳『宝氏経済夜話』（明治18年）、マソン/レロル著 牧山耕平訳『初学経済論』（明治15年）、スタンレーゼボン原著 安田源次郎訳『惹氏経済論上冊』（明治15年）、ケアン子ス著 田口卯吉訳 田部金次郎校閲『経済要義』（明治17年）、レ・バツシール著 永田健助訳『農工商経済論』（明治14-17年）エ・マルシャル/エム・ビーマルシャル著 高橋是清訳『勤業理財学』（明治19年）

Part III

バキステル著 何礼之訳述『英国賦税要覧』（明治4年）、ピシヨッフ著 飯山正秀訳『財政学教理問答』（明治20年）、ジョセーフ・ガルニエー著 山中真一訳『理財論』（明治11年）、グナイスト著 中根重一訳『歳計予算論』（明治21年）、[コッサ著] 町田忠治訳『財政学』（明治22年）、イーラー著 家永豊吉・塩沢昌貞訳『米国州市租税論』（明治26年）、エチ・シー・アダムズ著 小野英二訳補『公債論』（明治29年）及天野為之訳（明治34年）、[バステーブル著] 井上辰九郎訳『早稲田叢書 財政学』（明治32年）、[コーン著] 天野為之補訳『財政学』（明治32年）

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

[雑誌論文]（計0件）

[学会発表]（計0件）

[図書]（計3件）

Economics in Meiji Japan, Collected Works of Western Origin, selected and with an introduction by Prof. Takutoshi Inoue, Kwansai Gakuin University, Pickering & Chatto.

①Part III, vols. 8, 2012

R.D.Baxter, *Taxation of the United Kingdom* (1869), A. Bishof, *Katechismus der Finanzwissenschaft*(1876), J.Garnier, *Traité de finances* (1872), R. Gneist, *Gesetz und Budget* (1879), L.Cossa, *Taxation*(1888), R. T. Ely, *Taxation in American states and cities*(1888), H. C. Adams, *Public debts*(1887), C. F. Bastable, *Public finance* (1892), G. Cohn, *The science of finance* (1895).

②Part II, vols. 8, 2011

K.McKean, *Manual of Social Science* (1864), H.D. Macleod, *The principle of political economy* (1879), M.G. Fawcett, *Tales in political economy* (1874), A.B. Mason, & J.J. Lalor, *The Primer of political economy* (1875), W. S. Jevons,

Primers of political economy (1878), J.E. Cairne, *The character and logical method of political economy* (1875), É. Levasseur, *Cours d'économie politique* (1876), A. & M.P. Marshall, *The economics of industry* (1879),

③Part 1, vols. 8, 2009

[R. Whately] *Easy Lessons on Money Matters* (1849), J. T. Rogers, *A Manual of Political for School and Colleges* (1869), A. Walker, *The Science of Wealth* (1872), A.L. Perry, *Elements of Political Economy* (1867), H. Jouffroy, *Catéchisme d'économie politique* (1844), F. Bastiat, *Sophisms of Protection* (1877), [J. B. Byles] *Sophisms of Free-trade and Popular Political Economy examined* (1849), M.G. Fawcett, *Political Economy for Beginners* (1876)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

井上琢智 (INOUE TAKUTOSHI)
関西学院大学・経済学部・教授
研究者番号：30104269

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：